

ユネスコ第1回世界無形遺産

能楽

令和2年2月24日(月・振休)

第1部10時開演

第2部14時45分開演

(開場・各30分前)

第4回



みおつくし
チャリテイー能

主催・公益社団法人能楽協会大阪支部

会場・大槻能楽堂

大阪市中央区上町A-7

義捐金は社会福祉法人 読売光と愛の事業団を
通じて被災地へお送りします。

竹生島

前シテ	漁翁	梅若	基徳
後シテ	龍神	梅若	亮之
前ツレ	龍才天	堀上	知登
後ツレ	龍才天	中村	宜成
ワキ	因下	喜多	雅人
ワキツレ	從臣	善竹	隆司
アイ	社人		
笛	小鼓	大鼓	太鼓
後見	山本	梅若	前田
地謡	上野	井戸	生一
	池内	光	井戸
	今村	原	上野

田村

シテ	坂上田村	中嶋	謙昌
笛	左	鴻	雅
小鼓	上	田	敦
大鼓	山	本	寿

地謡	山口	尚志
	谷口	雅彦
	田中	敏文
	都丸	勇三
	藤田	章三

— 休憩 10分 —

小鍛冶

シテ	齊藤	信輔
後シテ	長山	禮三郎
ワキ	井戸	良祐
アイ	今村	哲朗

伯母ヶ酒

シテ	太郎	善竹	隆司
アド	伯母	上西	良介
後見	小西	玲央	

弓八橋

シテ	高林	白牛	口二
笛	高林	林	呻二
小鼓	松井	復	介
大鼓	高林	高林	昌司

養平

シテ	長山	耕三
後シテ	山本	章弘
ワキ	上野	朝鏡
アイ	山中	雅志

東北

前シテ	聖女	石黒	実都
後シテ	和泉式部	廣谷	和夫
ワキ	聖徳	舟竹	隆平
アイ	聖之門下/母	矢木	亮作
笛	小鼓	荒木	建雅
大鼓	辰巳	二	郎甫
後見	辰巳	満次	郎甫
地謡	辰巳	久	生
	和	久	生
	深	久	生
	辰巳	久	生
	渡	知	宏

附祝言
終了予定 14:10頃

第1部 10:00 開演

能 竹生島 (ちくぶしま)

延喜帝の臣下が老人と女の乗る釣り船で竹生島へ参詣すると、龍才天と龍神が現れ、龍才天は舞を舞って、龍神は宝珠を与え、国土安穏を誓う。

能 東北 (とうほく)

東国の旅僧が都で満開の梅を眺めていると女が現れ、この梅は和泉式部が植えた「軒端の梅」であることを語り、花の陰に消える。やがて和泉式部の霊が現れ、和歌の徳を讀んで舞を舞う。

狂言 伯母ヶ酒 (おぼがさけ)

酒屋を営む伯母は酒好きの期に一度も酒を振る舞ったことがない。婿は鬼に化けて伯母を脅し酒をせしめるが、酔いが回って取り込んでしまい…。

能 景清 (かげきよ)

鎌倉から日向宮崎へ下った人丸は里人の引き合わせにより父・景清と再開する。盲田となり果てた景清は屋島での合戦の有様を語り、やがて鎌倉へ帰る人丸を涙ながらに見送る。

能 乱 (みだれ)

所は唐土、瀟湘の江。孝行者の高麗の前に海中から狸々が現れ舞を舞い、酒の尽きることがない壺を与える。「乱」は「狸々」の特殊演出で狸々の舞う「乱」は観念に富み、特殊な足遣いが特徴。

狂言 泉 (ふくろう)

弟の様子がおかしいので兄は山伏に祈禱を頼む。山伏が祈り始めると弟に取り憑いていた祟が兄にも取り憑き…。

第2部 14:45 開演

— 休憩 10分 —

能 景清

シテ	七兵衛	赤松	濱友
ツレ	人丸	守武	幸祐
トモ	人丸/從者	富王	康十郎
ワキ	聖人	福茂	茂十郎
笛	小鼓	貞光	義明
大鼓	大鼓	久守	一由
後見	齊藤	大西	信隆
地謡	大	上	文
	山	山	雄
	水	山	三
	山	山	通
	田	田	人
	金子	子	明
	上野	上野	薫

能 難波

シテ	生一	知哉
ツレ	上野	雄三
トモ	齊藤	信隆
ワキ	梅若	猶義
後見	小西	弘通
地謡	勝部	延和
	林本	大之
	佐野	

能 泉

シテ	法印	善竹	五郎
アド	兄	上古	徹
アド	弟	小西	玲央
後見	上西	良介	

能 桜川

シテ	狂女	立花	香寿子
笛	小鼓	森田	啓子
大鼓	大鼓	久田	陽春
後見	地謡	森山	泰幸
		堀谷	恵
		前田	飛南
		赤井	きよ
		宮下	昌子

能 清経

シテ	林本	大
アド	大槻	文蔵
アド	山本	博通
後見	大西	礼久
地謡	松浦	信一郎
	寺澤	幸祐
	武富	康之
	鶴	克彦

終了予定 18:30頃